

# 2 京都大学

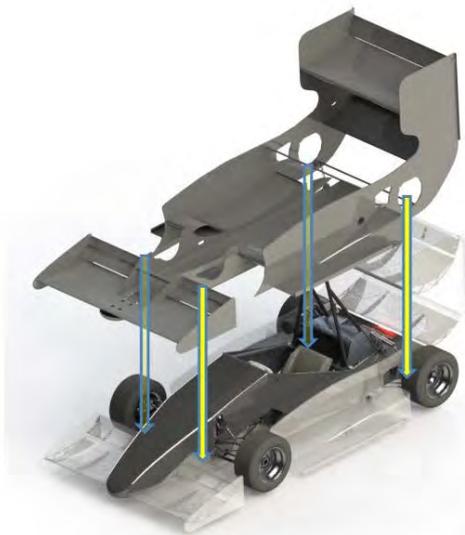
Kyoto University

## 京都大学フォーミュラプロジェクトKART

Kyoto University Formula Project KART

<http://www.formula-kart.org/>

### 日本一をめざして —新規コンセプト開拓の苦難と成果—



#### 今回の総合結果・部門賞

- 総合23位 ●デザイン賞2位 ●スキッドパッド賞3位 ●CAE特別賞2位 ●ベスト・サスペンション賞2位 ●ベスト3面図賞 ●ベストエアロ賞

#### Profile チーム紹介・今までの活動

2003年に発足、第2回大会から全日本学生フォーミュラ大会に参戦し続け、チーム結成10年目となる2013年度に初の総合優勝を飾りました。チームの人数は少ないものの勝つことにこだわり、積極的に新技術に挑戦する攻める姿勢を強く持っているチームです。

#### Team-member チームメンバー

- 菌 和希 (CP)  
山路 伊和夫 (FA)  
大橋 一輝、松岡 敦生、井澤 純一、松本 太斗、井上 慎平、岸上 稜、鈴木 雅史、早川 健太郎、中村 葵

## Presentation

### プレゼンテーション

圧倒的総合優勝を目標に掲げ、本プロジェクトは始動しました。勝つために挑戦することを厭わず、誰が見ても「速い」車を作ることをめざし、車両設計にあたっては目標値と理由付けを明確にすることで徹底的に合理性を追求しました。

今年度の車両は、京大伝統のアルミスペースフレームや、単気筒シャフトドライブのレイアウトを引き継ぎながらも、新しい技術に積極的に挑戦しています。最も大きな特徴は、ツインシャシー機構の搭載です。ツインシャシーとは、エアロデバイスユニットをひとつのシャシーとしてバナ下へ搭載し、メインのフレームとは独立して運動させる機構のことです。これによりコーナリング時のエアロデバイスの姿勢変化を抑え安定してダウンフォースを発生させること、およびサスペンションジオメトリの設計の自由度を高くすることを狙っています。また、大会での搭載はかなわなかったものの、電動アシストスーパーチャージャーを自作し、テスト走行でその効果を確認するに至っております。

以上の取り組みが車両の速さとして確かに表れ、成果が確認できたことはチームにとって大きな収穫でありました。さらに多くの方から高い評価を得ることができ、車両設計に関して複数の賞を受賞できたことから車両の方向性が間違っていないと考えています。

## Participation report

### 参戦レポート

総合優勝を目標として臨んだ第13回大会でしたが、無念のエンデュランスリタイヤを喫し総合23位と理想とは大きくかけ離れた結果となりました。車両に寄せた数多くの新しい試みに対し、それを達成するためのチームのマネジメントが機能していなかったため、繰り返し起こるトラブルの対処に追われ走行距離を稼ぐことができず、大会に万全の状態では臨めなかったのだと振り返っております。また、プレゼンテーション審査14位、コスト審査15位とこれらの順位を大幅に落としてしまったことも各審査に対して十分なリソースが割けていなかったためであり、マネジメントの観点から反省すべき点でありました。

しかし、スキッドパッドでは3位を獲得、オートクロスでも2番目のタイムを記録し、車両の速さを実感することができました。さらにデザイン審査ではデザインファイナルに出場し2位を獲得、加えてベストエアロ賞やCAE特別賞を受賞し、車両設計においても高評価をいただくことができました。良い設計が実走行に上手く反映されている確かな手応えは感じられました。

今年度は非常に悔いの残る結果となりましたが、来年のKARTは今年をステップとし躍進すると信じております。再び表彰台の頂点に立てよう、志を新たにKARTの挑戦は始まります。

## Sponsors スポンサーリスト

森精機製作所、ヤマハ発動機、オキソ、ジェイテック、UACJ、NTN、神戸製鋼所、浅野歯車工作所、井尾製作所、住友電装、ソリッドワークスジャパン、ウミヒラ、日本精工、エーティーエス、京信会グループ、ウイリー、デンソー、THK、琵琶湖スポーツランド、山岸本舗、インダ製作所、廣部機型製作所、小松製作所、AVO、キャタラー、ダウ化工、三和メッキ、ミスミ、速水矯正歯科、テクノイルジャパン、ワークスベル、カフィール、岩井木型製作所、タイヤボックスエボルヴ、ANSYS、サイバネットシステム、田中製作所、日信工業、エム、ウィット、サンライズ、エンタープライズワイ、フューチャーテックノロジー、ネクスト、CAST、昭和飛行機、マツダ葵会、ヤンマー、名阪スポーツランド、プラスミュージック、テックサーフ、コンテックラボ、東日製作所、松本金属工業、京機會、京都大学機械系工作室